

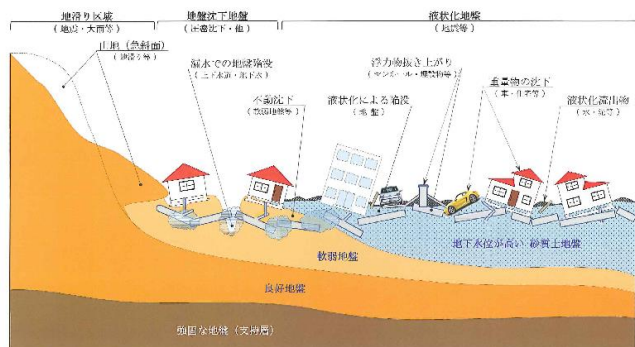
唐津市の企業がインドネシアの地盤沈下を防ぐ！

～佐賀県初の JICA 事業採択企業がインドネシアへ～

国際協力機構(JICA)は、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社ワイビーエム(佐賀県唐津市、吉田力雄代表取締役社長)が提案する「中層混合処理工法」を用いた地盤改良による交通インフラ整備支援に係る案件化調査(インドネシア共和国)を採択しました。

経済発展と災害防止には迅速かつ安全なインフラ整備が不可欠ですが、インドネシアには多くの軟弱地盤があり、スムーズなインフラ整備が実施されていません。また、軟弱地盤を改良するための、地盤改良に関する情報、技術、人材が不足しており、適切な対策が行われていない状況です。

今回の提案技術は、軟弱地盤対策工法の一つである「中層混合処理工法」です。現在インドネシアで行われている「バーチカルドレーン工法」よりも確実な地盤改良効果が得られ、工事期間が短くなります。国内では、有明海沿岸道路や羽田空港工事で長年培ってきた、地盤の調査から改良までの技術と、国内トップシェアの製品をもつ同社、今回の調査では、スマトラ島の高速道路建設予定地で、従来の地盤改良工法では対応困難と問題視されている軟弱地盤の一部に、提案工法を施工し、同工法の有効性を検証します。



地盤改良が不完全な場合のイメージ図



同社製品(左より、GIシリーズ地盤改良機、SGシリーズグラウトポンプ、YMAシリーズミキシングプラント)

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2015年度第2回分は昨年9月に公示を行いました。120件の応募のうち34件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)案件化調査 2015年度第2回公示の採択結果について

URL: <http://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】

JICA九州国際センター 担当:小西 TEL 093-671-8204

JICA国内事業部中小企業支援調査課 水谷(案件担当)、橋本(広報担当)

TEL 03-5226-3243 e-mail: pdtfs@jica.go.jp